



本物力こそ桑名力

資料 3-1

令和元年度 公民連携（PPP）の取り組みについて

市長公室 まちづくり推進課



1. 『コラボ・ラボ桑名』の実績

【提案案件実績】（テーマ型提案、フリー型提案、包括連携協定合計）

年度	H28	H29	H30	R 1（2月末現在）
件数	15件	21件	16件	27件

【実現実績】（テーマ型提案、フリー型提案、包括連携協定合計）

年度	H28	H29	H30	R 1（2月末現在）
件数	3件	6件	2件	7件

【新たな取り組み】

①職員向け『歳入確保キャンペーン』実施

厳しい財政状況の中、職員のユニークなアイデアで財源の確保を図ること
と、職員が民間的な発想で、自らが「稼ぐ」意識を高めることを目的とする
⇒25件の提案があり、実現に向けて協議中

②令和元年11月から『新フリー型提案制度』実施

市に財政負担が生じない提案については、優先的に交渉ができる制度
⇒3件の提案があり、2件採択、1件継続審議

職員提案募集

「がんばり」見える化」や「コラボ桑名」
コラボ・ラボプロジェクト
第3弾！（期より稼ぐ！）

歳入確保 キャンペーン

※実施期間 令和元年 7月31日（水）まで

※対象者 全職員（個人、グループ、係単位なども可）

※実施内容 ①歳入確保にかかる提案
②遂行中の歳入事業の拡充

◆キャンペーン期間中の特典◆

- ①提案内容の市場性や可能性などの審査、公募までの一連の事務をまちづくり推進課が全面的にバックアップ
- ②「財源確保「がんばり」見える化」予算」に連じた予算化が可能・他課にかかる経費の割合も予算化が可能（ただし、インセンティブの割合は協議）

※お問い合わせ 総務「コラボラボプロジェクト歳入確保キャンペーン推進シート」に必要事項を記載していただき、まちづくり推進課までメールでご送付ください。

2. 「コラボ・ラボ桑名」実績① 包括連携協定

セブン-イレブン・ジャパンと地域活性化包括連携協定締結



- ① 高齢者等の見守り活動、支援
- ② 防犯、安全・安心なまちづくり
- ③ 子育て支援・青少年の健全育成
- ④ 商業・観光振興及び雇用促進
- ⑤ 地産地消の推進、市産品販売促進
- ⑥ 地域活性化・市民サービス向上

【具体的な取り組み】

県内のセブン-イレブン店舗が移転・改装する際に出た商品を地域の人たちに使ってもらう商品寄贈が行われました。日持ちのする食料品、飲料品、日用品などダンボール218箱分が桑名市社会福協議会へ寄贈されました。生活困窮者や子ども食堂、宅老所などに配られます。

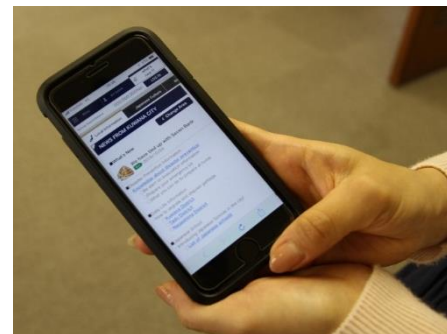


3. 「コラボ・ラボ桑名」実績② フリー型提案実績

①新電力の新規参入 ⇒ウエスト電力が新規参入

②多文化共生アプリの活用

セブン銀行が運営しているアプリを活用し、アプリ内の地域情報に桑名市の情報を掲載することで、9言語対応できるようになった



③ネーミングライツ

ノザキ製菓アイリスパーク

ノザキ製菓アイリスパーク球場

ノザキ製菓アイリスパークグラウンド

年額40万円 5年間

その他役務の提供で施設の簡易点検、清掃、大会などへの商品提供



④桑名卓球珈琲プロジェクト企業協賛

昨年3月、民間事業者の提案で、「卓球」と「カフェ」で桑名を元気にするため、城南まちづくり拠点施設で開設した桑名卓球珈琲にノザキ製菓様から商品提供をいただき一定数利用した方にガムの提供を行った

4. 「コラボ・ラボ桑名」実績③ 新フリー型提案制度

□事業者インセンティブ

提案内容に独自のアイデアが含まれる場合は、提案自体を知的財産ととらえ、提案が採用されるとともに、協議が整った場合に、提案者と契約を行う。

□提案募集の対象

- 今までのフリー型提案と同じく桑名市が行っているすべての事業
- 市民サービス向上、歳出削減、歳入確保につながること

○原則、桑名市に新たな財源負担を生じさせない事

□提案内容 3件

- ①公共施設における医療器具の提供及び広告付行政情報ディスプレイ設置事業 ⇒採択
- ②公共施設への太陽光発電設備・蓄電池設置事業 ⇒継続審議
- ③市有地の利活用について ⇒採択

新フリー型提案制度のメリット

- スピード感を持って対応可能
- 民間事業者のアイデア・ノウハウを保護
- 民間事業者のインセンティブとなって提案件数の増加